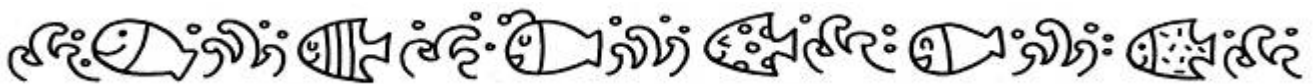




夏休み目前！ 今年はどうな夏になるのだろうか？と夏休みを前にしてスタッフの意気込みは日に日に増してきています。去年の夏を思い出しながらあれこれと予定を立て、計画を練り直し・・・出来上がった予定表を見て更に気持ちを上げております。一つひとつの取り組みに意味を待たせながら、今年の夏が終わる頃にはどんな力を身に付けられているのを想像しながら、子供たちそれぞれの成長を願っております。

さあ、夏休みに 乗り込むぞ！



今月のすがた

6月、梅雨の季節です。ものすごい雨音にびっくりする日もありました。つぼみの前の田んぼの稲も日に日に大きくなり、それと共にカエルの大合唱も聞こえてきます。では、未就学児クラスは外の物音に耳を傾けるほど静かかということではありません。6月からまたまた新しいお友達「わたなべ はる君」を仲間を迎えさらに賑やかになりました。

まず制作では、父の日に向けてレターラックを作りました。紙皿に折り紙をちぎって貼り素敵なお父さんの洋服が出来上がりました。そして、格好のいい蝶ネクタイ。お父さんの顔を描く時はスタッフは手を添えるだけ...めがねをかけていたりひげが生えていたり、あとからお父さんの写真を見てみると不思議と？見れば見るほど？良く似ています。洋服の色も普段から良く着ている色だったり、子供たちは良～く見ているんだなぁと感心してしまいました。レターラックのプレゼントを受けとったお父さんはどんな表情をされたでしょうか？

6月の半ばからは「お池で元気良く跳ねるカエル」の制作をしました。一人ひとり跳び方も違います。指絵で描いたアジサイの色もそれぞれ。とてもかわいい作品に仕上がりました。

それから、朝の会では、季節の歌の他に、音遊びを取り入れました。「重い」「軽い」「遅い」「速い」など一つの曲を色々な雰囲気に変えて、それに合わせて手拍子や足拍子、プレイルーム中を走ったり歩いたり...思い思いのやり方で音を楽しんでいます。まだまだやり始めたばかりで、どうやったらいいのかな？というお子さんもいますが、お隣の人を真似て少しずつ楽しめるようになってきています。

そして、なんと言っても、子供達のお待ちかねは「水遊び」です。つぼみに来ると「準備体操マーク」か「てるてる坊主」マークかを確認、
「準備体操マーク」だったら赤い大きなかごに水遊びバックをポン！ほとんどの子供が朝からそわそわしています。着替えの順番もきちんと守って、





ちょっぴり冷たい水に順番に入っていきます。ビニールプールの中では水をかけたりかけられたり、思い思いに楽しんでいます。

4月から早いもので4ヶ月。幼稚園に通うようになったり、新しくつぼみに来るようになったり、幼稚園でも一番上のおにいさんおねえさんになったりと、それぞれ生活に変化がありました。

個から小さな集団へ、そして大きな集団へ...
他の人へ関心を持ち、関わり合いながら、

集団という社会の中で育ち過ごしていくということが少しずつできるようになってきたお子さんが増えてきたことをうれしく思っています。立ち止まるということだけでなく、そして、飛躍した大きな夢をみるということだけでなく、今一度子供達の今までの大きな成長と頑張り思い起こし、日々の小さなステップをこれからも進んでいかれるようにと願っています。



Kのひとこと

社団法人光陽福祉会になり、1ヶ月が経過しました。この間、事務手続きや、行政への移行申請等、目まぐるしく忙しい日々。そんな日々を現場で支えてくれる職員がいる。

我が法人の「生き字引き」が中村先生。中高生の部での漬物。学童の部での五平餅の味付けから現場職員の味覚指導。調理指導を行なう。隠れたドンだ。

年齢は、言えないが、かなりなもので、でも、パワフルさは、古田センター長をうならすものがある。赤いつぼみTシャツがトレンドマーク。職員の悩みを聞いて、職員間の人間関係の調整をするのも「ドン先生」の仕事だ。

ある日の会話。古田センター長「漬物の味、これでいいですか?」「私は良いと思うけど・・・」ドン先生「なるほどいいね。いいね。」と言いながら、塩を追加するドン先生。確かに私が食べても、うすかった。ドン先生の優しい気遣いで、この日も紛争は起きなかった。しかし、古田センター長の味覚は・・・

我が法人のドンは今日も紛争を抑えるべく職員間の間に入り、気持ちよく子どもを迎えられる環境整備に努めています。(今回からは“K”から見た職員紹介をしていきます)

つぼみのねがい

泣きっぱなしだった子達が、元気に幼稚園や保育園に通う姿に1年前を思い出す。どうなるんやろか?大丈夫なんやろか?っと不安なあまり夢にまで出てくる状態(笑)今年も年長さんがたくさんいて...就学についてはいろいろ悩みも多いかと思えます。気楽に相談にいただければ...と思っています。

未就学児の保護者の方から学童の部についても質問をいただいておりますが、**全ての子がエスカレート式に上がれるというものではない**ということを知っておいて下さい。未就学は少人数での対応です。現在はほぼ2名から3名の対応となっています。小学部は12名以上の大集団です。その中で最低限の自身を守る術や集団の中でやっていけるだろうの力を身につけていると判断した子のみの利用となります。今一度わが子が異年齢の集まりでしかも、大集団の中でやっていけるか?冷静に考えて下さい。よその子と比べるのではなく、わが子の自助力に着眼してみてください。